



島根県の経済情勢

令和 6 年 4 月 22 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 幸村
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項 目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある	↔
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→
設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超幅が拡大している	「下降」超に転じている	↔
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	↗
公共事業	前年度を下回る	前年度を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

家電大型専門店販売及びホームセンター販売は、暖房器具などが低調であり、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、軽乗用車、小型乗用車、普通乗用車いずれも、前年を下回っている。一方、ドラッグストア販売は、化粧品や医薬品などが好調であり、前年を上回っている。百貨店・スーパー販売は、飲食料品などが堅調であり、前年を上回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、底堅い観光需要が続いており、冬季の旅行キャンペーンなどの効果もあって、前年を上回っている。

（主なヒアリング結果）

- 暖冬の影響により、暖房器具が全般的に不調である。特に、単価の高いエアコンの売行きが悪い。（家電大型専門店）
- 暖冬の影響により、暖房器具や防寒衣料、雪かき用品などが落ち込んでいる。冬物商品を目的とした来店が減ったこともあり、全体の売上が前年を下回った。（ホームセンター）
- 中高生に人気のある韓国コスメなど化粧品が良く売れているほか、市販の医薬品も引き続き伸びている。（ドラッグストア）
- 農産物が良く売れている。節約志向が根付く中、丸ごとでは高価であっても、サイズを小さくした野菜については値ごろ感が出て、商品の動きが活発になった。（百貨店・スーパー）
- 冬季対策として団体客の受入れを強化したことに加え、県による旅行キャンペーンの効果もあって、想定以上に多くの宿泊客を迎えることができ、コロナ前に比べても高い稼働率となった。（宿泊）
- 観光客が戻ってきたことに加え、冬場にしては比較的天候にも恵まれたことから、前年と比べても利用客が順調に増えている。駅前エリアの店舗では、インバウンドの利用もみられ始めている。（飲食）

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある」

汎用・生産用・業務用機械は、食料品向けの受注が堅調であることなどから増加している。一方、鉄鋼・非鉄金属は、中国経済の回復遅れによる影響などから減少している。木材・木製品は、住宅着工の不振により需要が低迷していることなどから減少している。輸送機械は、一部自動車メーカーの生産停止による影響などから減少している。電子部品・デバイスは、パソコンや基地局向けの回復が遅れていることなどから減少している。

- コロナ禍の収束やインバウンドの増加に伴い、市場が回復基調にある食料品業界向けなどの受注が堅調である。（汎用・生産用・業務用機械）
- HV 販売の伸長を背景に、国内においては内燃機関向け製品が回復基調にあるが、海外向けの輸出は中国経済の回復遅れによる影響などから、依然として低調である。（鉄鋼・非鉄金属）
- 物価上昇により消費者の購買意欲が減退している中、住宅取得にマインドが向かないことから、木材需要の低迷が続いており、1月以降は減産傾向にある。（木材・木製品）
- 一部自動車メーカーの生産、出荷停止の影響により、生産量が大幅に減少した。（輸送機械）
- 自動車向けは堅調に推移しており、スマホ向けも緩やかに回復しつつあるが、依然として PC や基地局向けの回復が遅れており、製品によって状況にばらつきがある。（電子部品・デバイス）

■ 雇用情勢 「持ち直している」

新規求人数は減少しているものの、依然として有効求人倍率が全国平均を上回っており、人手不足の傾向が続いている。

- 新規雇用が容易でないことから、人手不足解消に向けて、アルバイトから契約社員、次いで正社員への転換を推進している。（小売）
- 採用後の定着率が低く、従業員が不足気味であることから、待遇改善に加え、業務量の見直しや平準化を進める必要がある。（汎用・生産用・業務用機械）
- 企業からの経験者に対する求人需要が増えており、以前に比べてシニア層の雇用ニーズは高まっている。（人材派遣）

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 製造業は、化学工業などで減少するものの、情報通信機械や業務用機械などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業は、情報通信などで増加するものの、小売や金融、保険などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。

- 自動車の電装化などにより、長期的に電子部品需要が継続すると考えていることから、生産能力の増強投資を進めており、この度、新生産棟を建てた。(情報通信機械)
- 新規出店に伴う建設工事を前年度から実施しており、今年度はその反動から投資額が減少する見込みである。(小売)

■ 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 製造業は、化学工業などで増益となるものの、鉄鋼や生産用機械などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、運輸、郵便などで増益となるものの、小売や卸売などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは、翌期に「上昇」超に転じ、翌々期に「上昇」超幅が拡大する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、前年を上回っている。利用関係別にみると、貸家や持家などで前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)でみると、前年度を下回っている。発注者別にみると、県や市町村などで前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費 -----	1
2. 生産活動 -----	3
3. 雇用情勢 -----	4
4. 設備投資 -----	5
5. 企業収益 -----	5
6. 企業の景況感 -----	6
7. 住宅建設 -----	6
8. 公共事業 -----	6

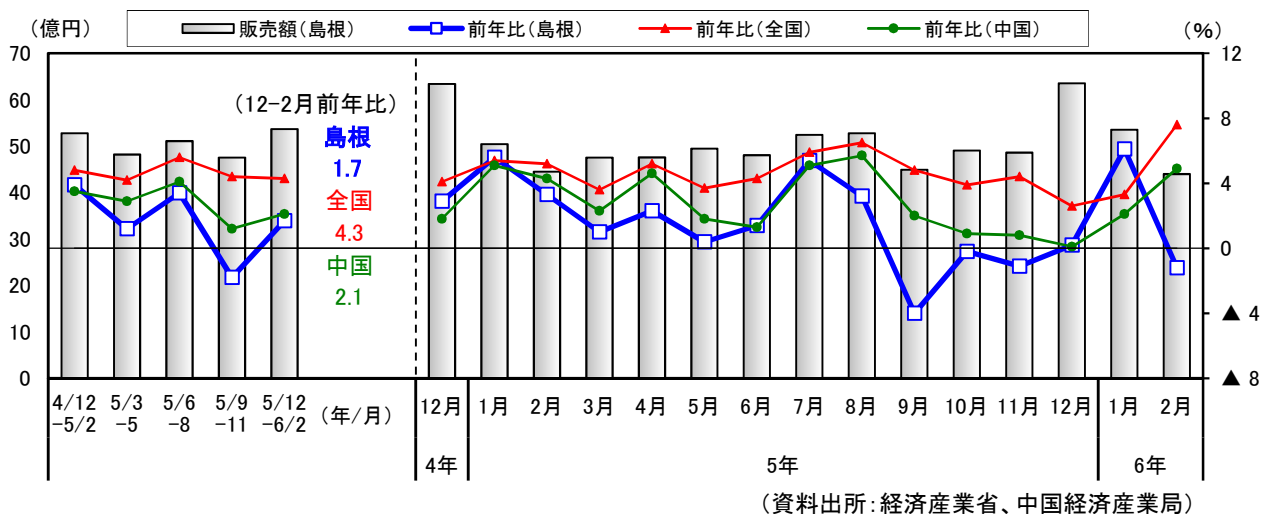
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 幸村
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

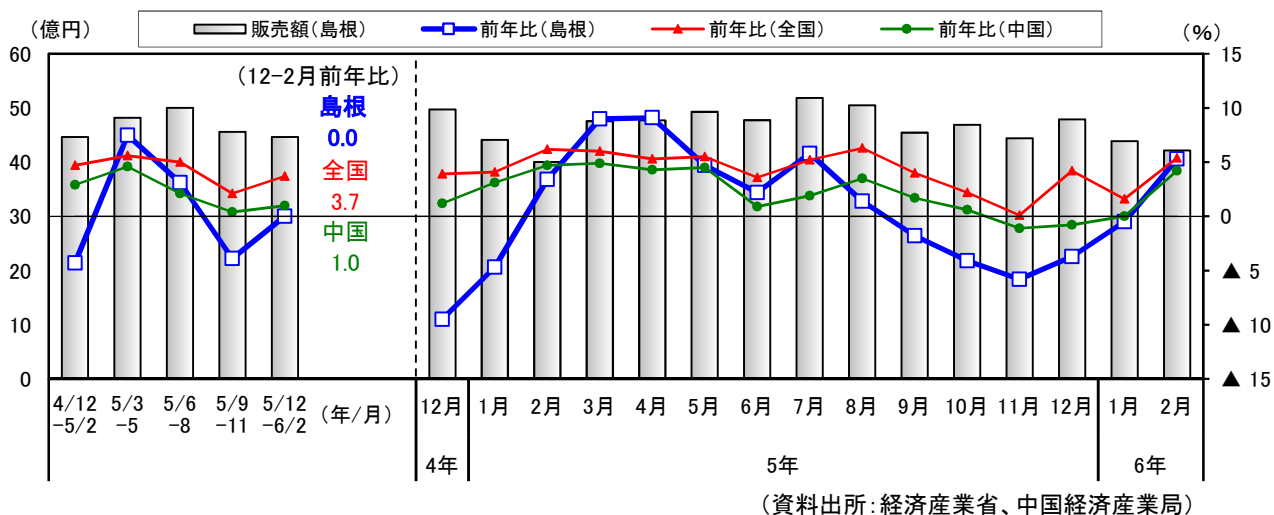
1. 個人消費 持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

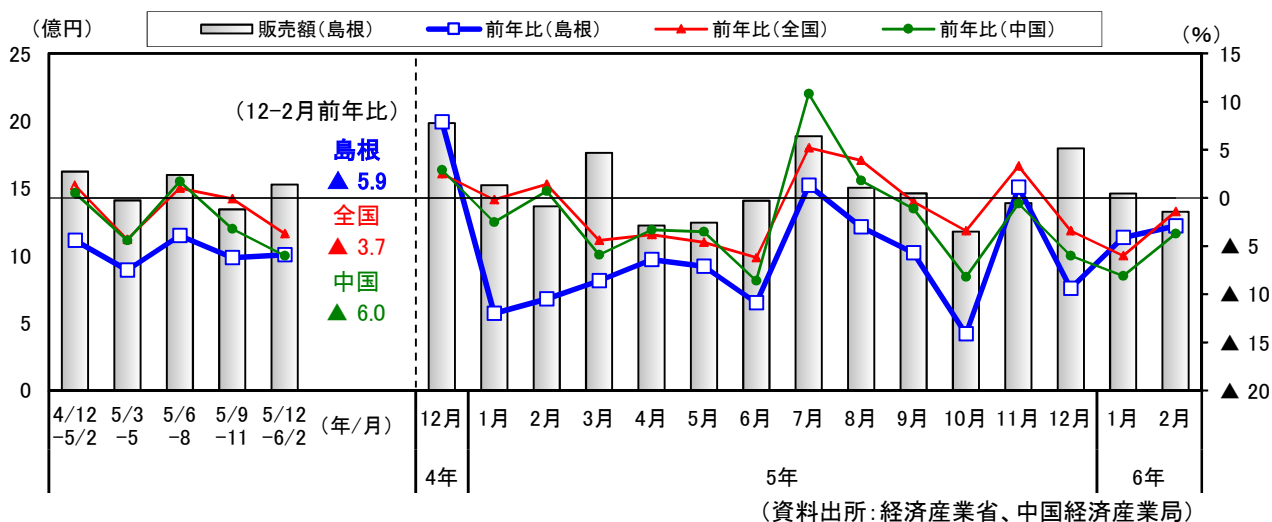
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗)



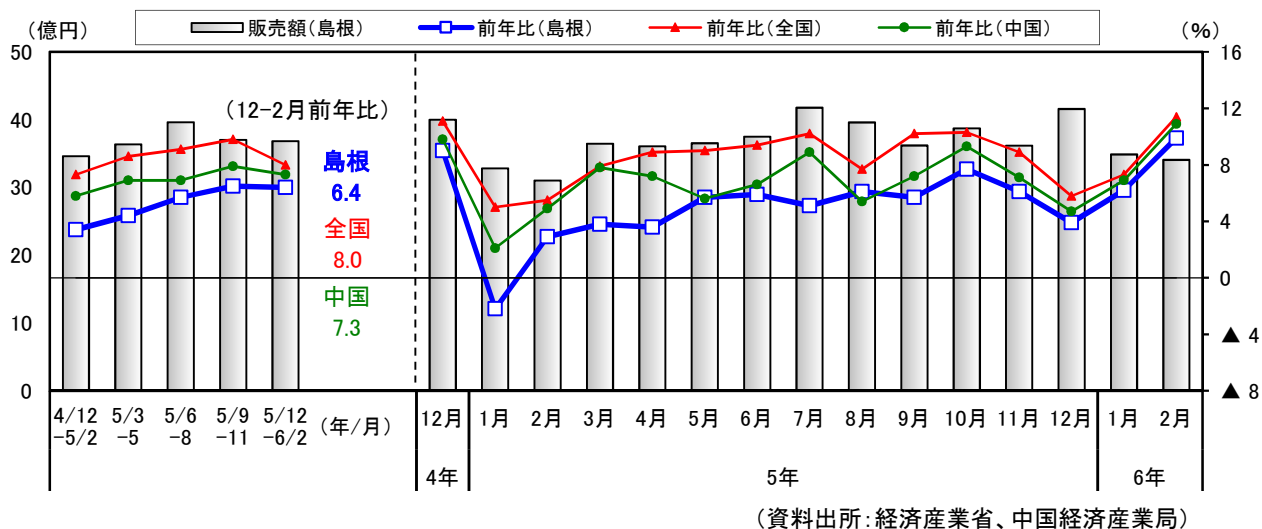
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗)



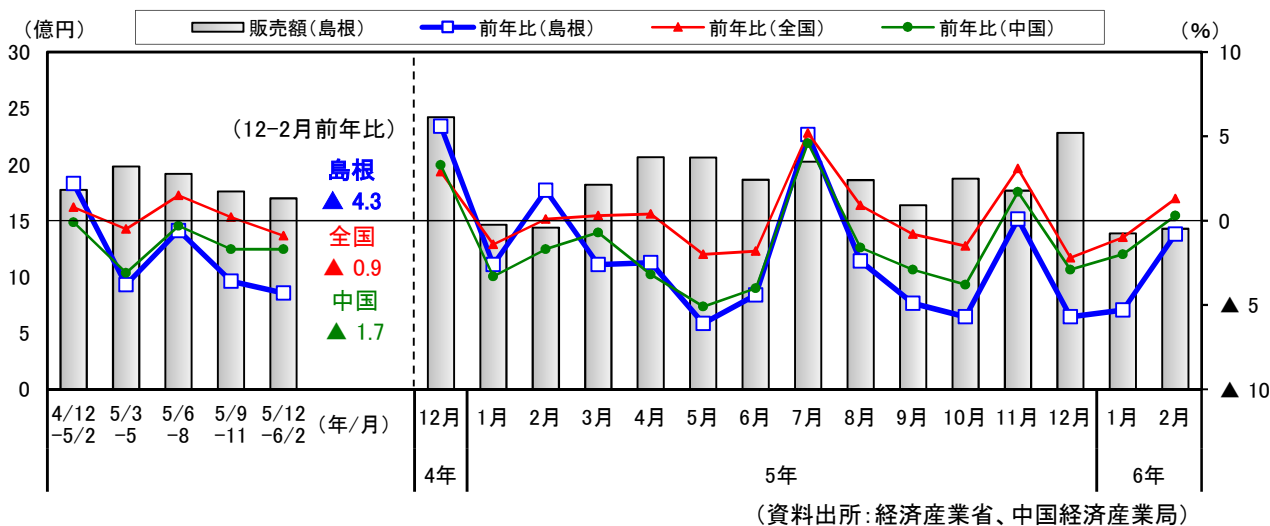
(3)家電大型専門店販売額(全店舗)



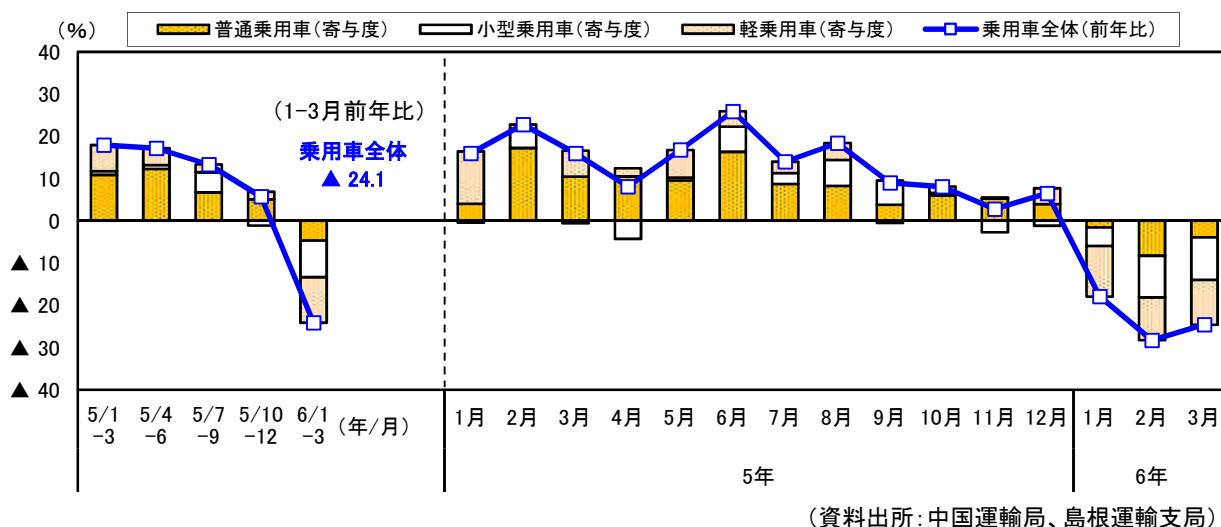
(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



(5)ホームセンター販売額(全店舗)



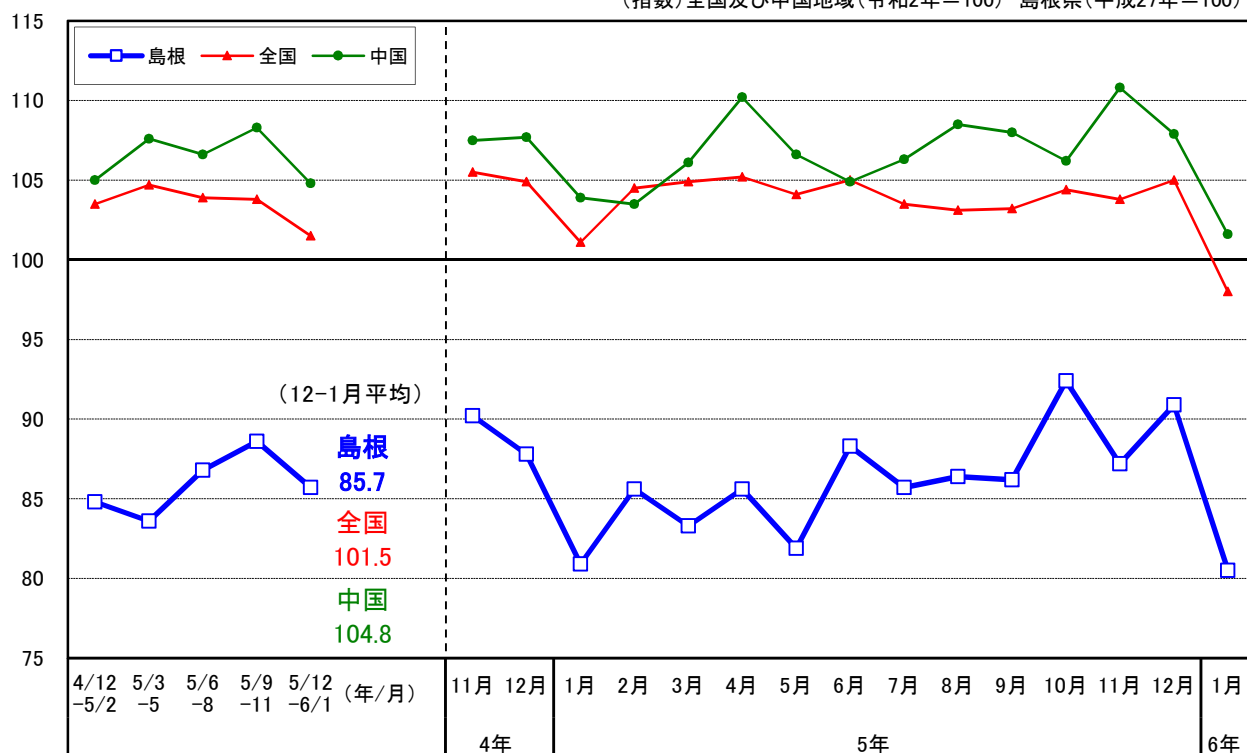
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

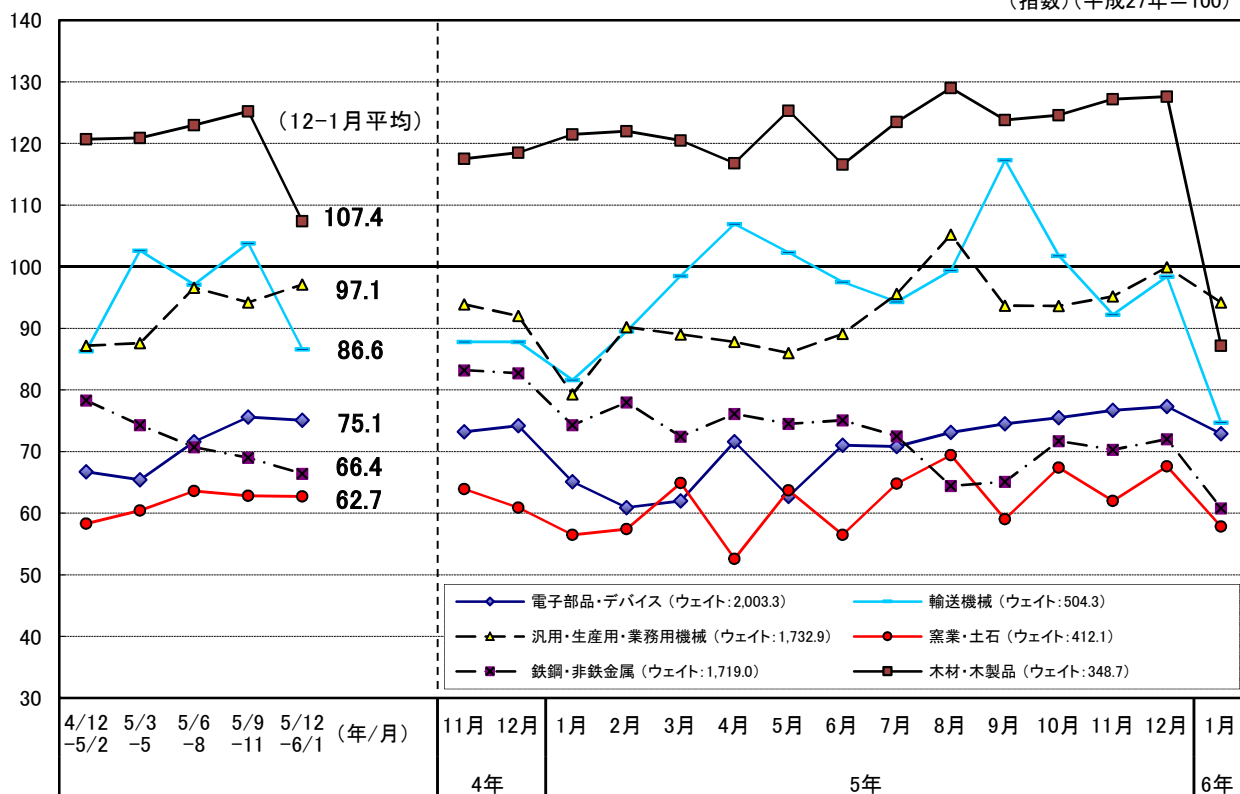
(指数) 全国及び中国地域(令和2年=100) 島根県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

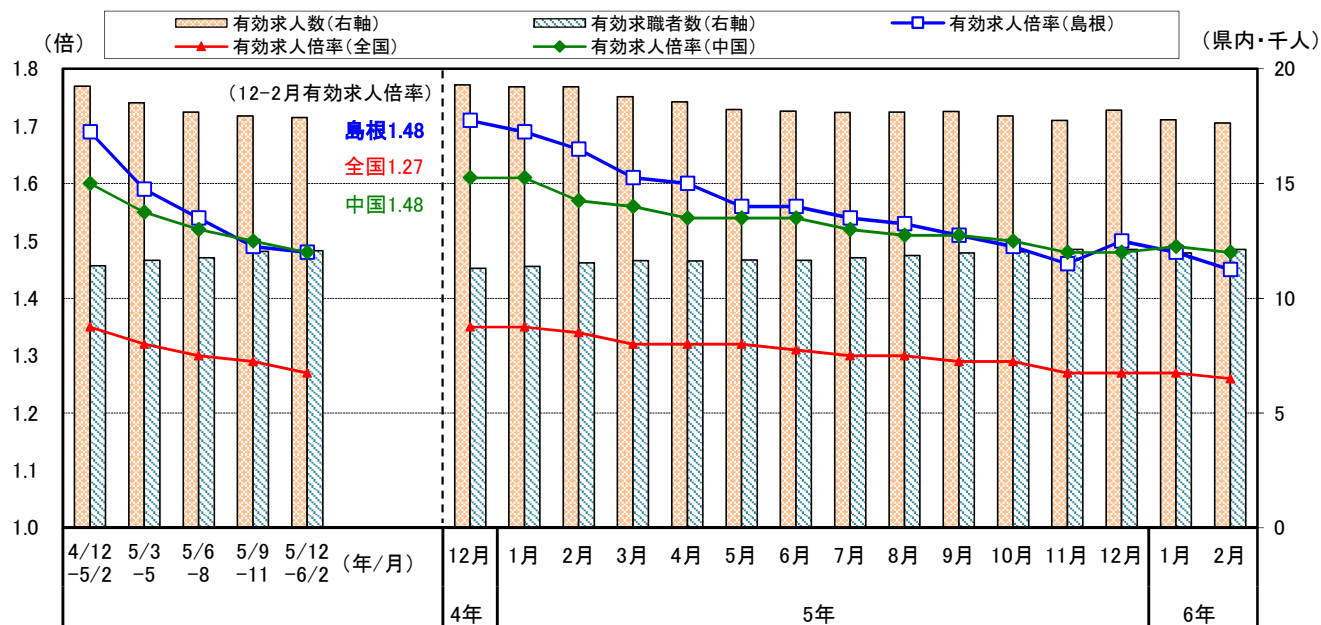


(資料出所: 島根県統計調査課)

3. 雇用情勢 持ち直している

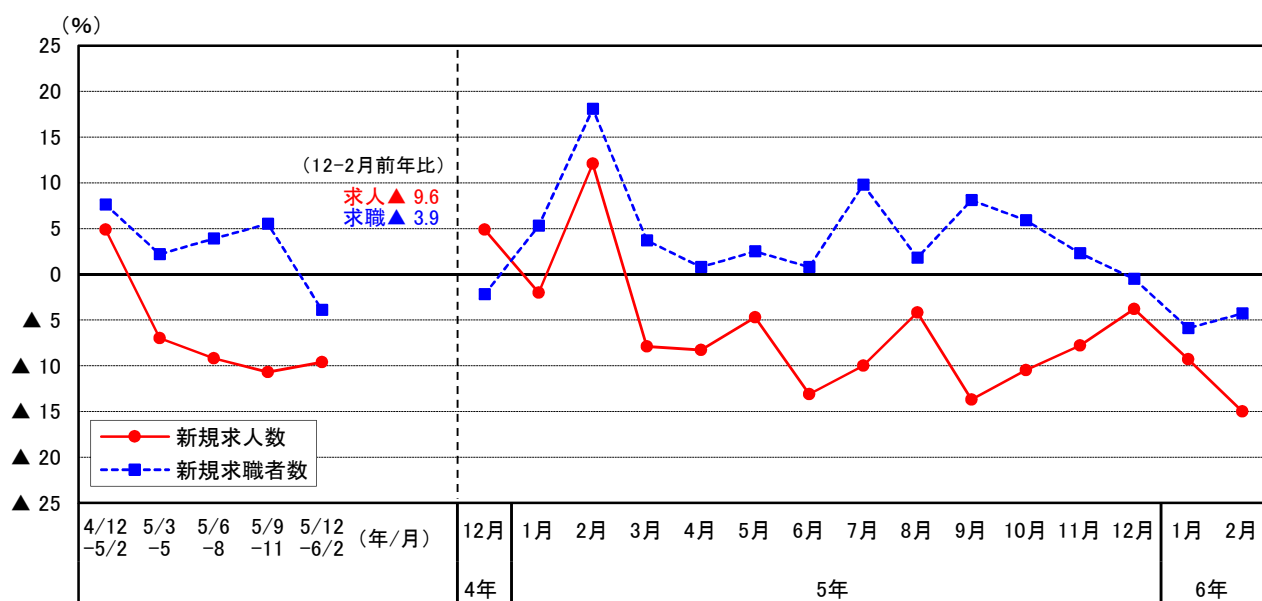
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所: 厚生労働省、島根労働局)

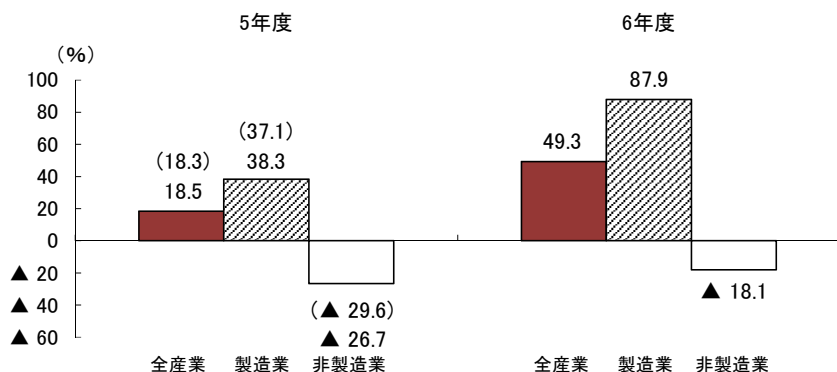
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所: 島根労働局)

4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

設備投資の前年度比増減率

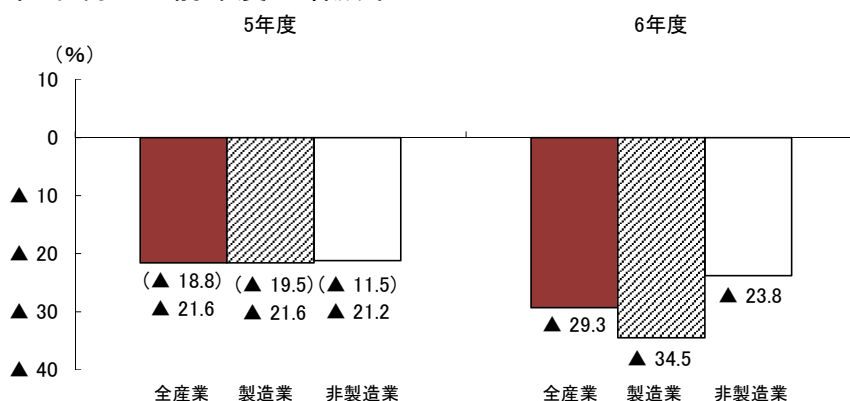


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年1-3月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(5年10-12月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 5年度は減益見込み

経常利益の前年度比増減率

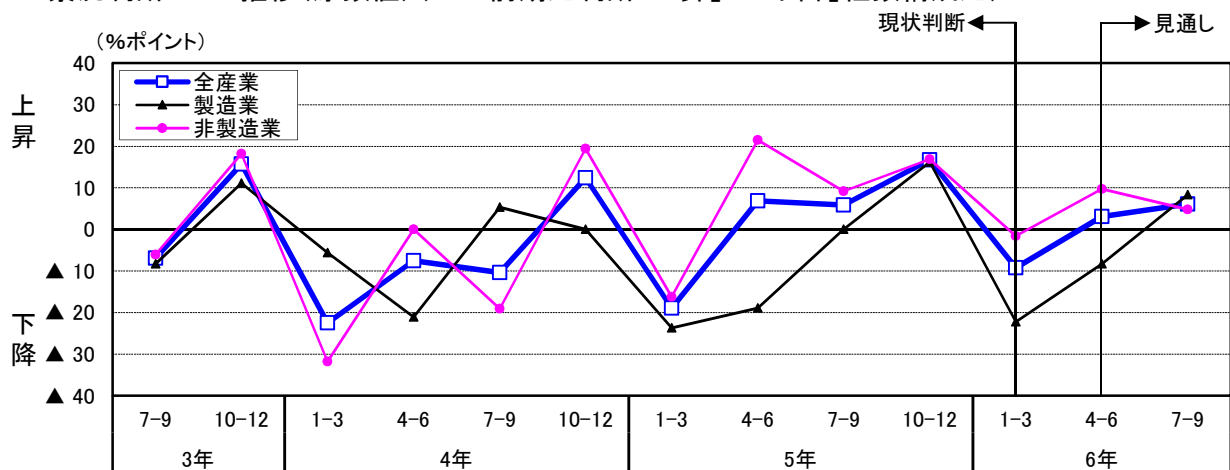


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年1-3月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(5年10-12月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超に転じている

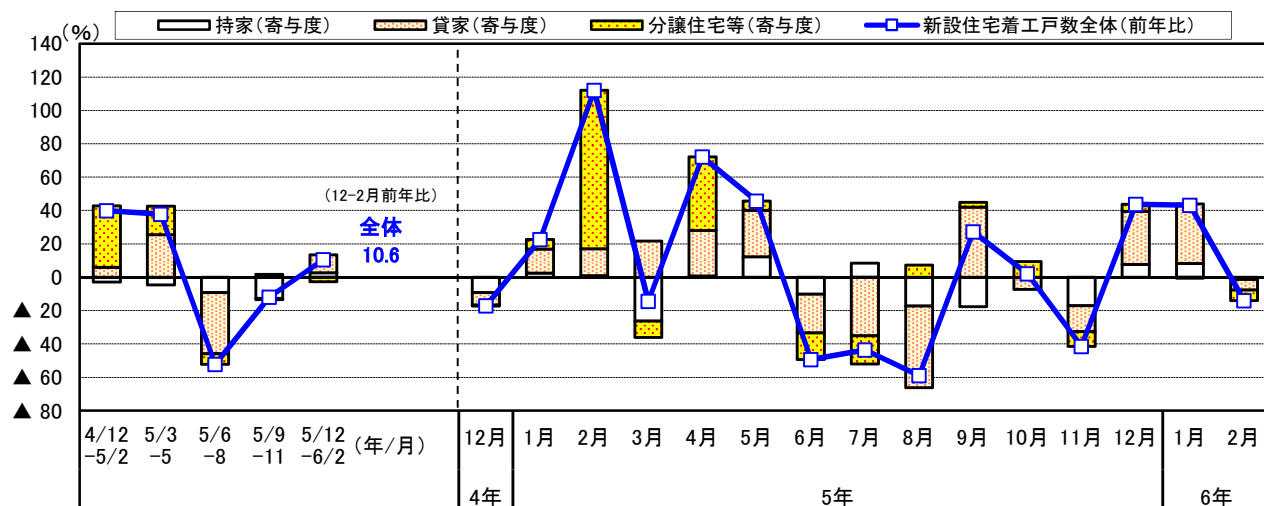
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を上回る

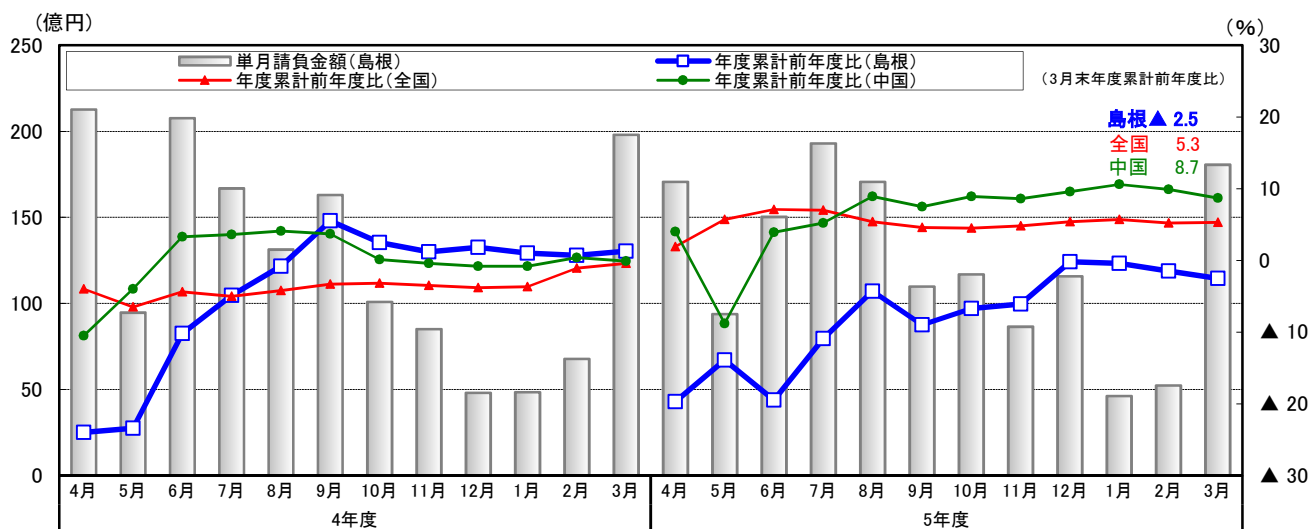
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所: 各建設業保証(株))